

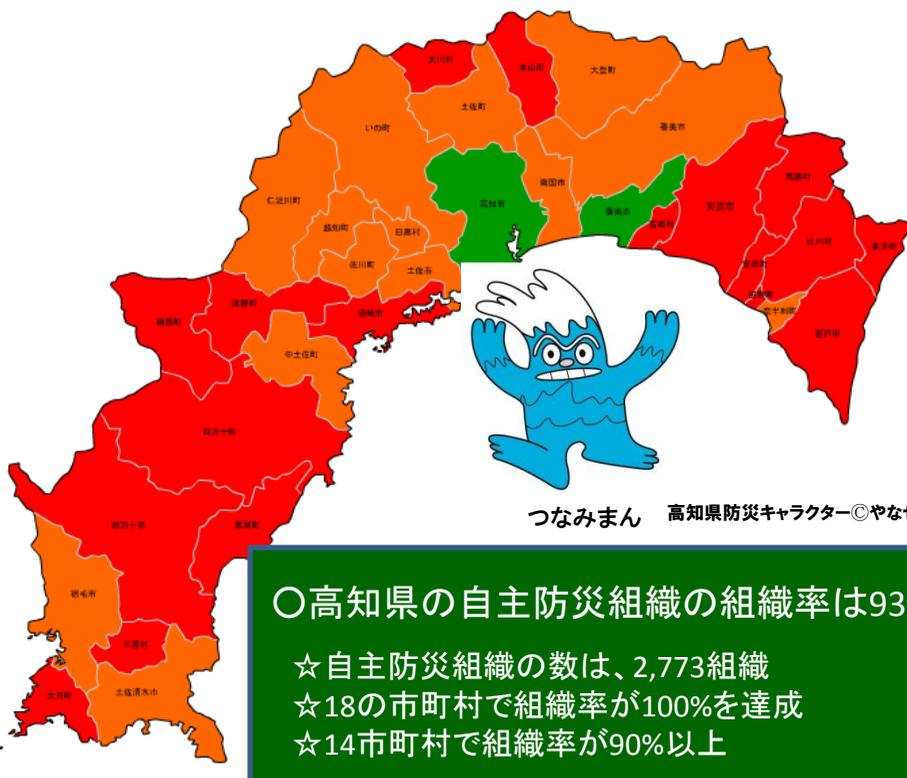
地域が主役

～県内の自主防災組織の現状～

自主防災組織率の現状

(平成28年4月1日現在)

組織率	市町村名
100%	室戸市、安芸市、須崎市、四万十市、東洋町、田野町、安田町、北川村、安馬路村、芸西村、本山村、大川村、梶原町、津野町、四万十町、大月町、三原村、黒潮町
90%以上	南国市、土佐市、宿毛市、土佐清水市、香美市、奈半利町、大豊町、土佐町、いの町、仁淀川町、中土佐町、佐川町、越知町、日高村
80%以上	高知市、香南市



つなみまん 高知県防災キャラクター©やなせたかし

○高知県の自主防災組織の組織率は93.3%

- ☆自主防災組織の数は、2,773組織
- ☆18の市町村で組織率が100%を達成
- ☆14市町村で組織率が90%以上



じしんまん

毎年8月30日から9月5日までは
「高知県南海トラフ地震対策推進週間」です。

南海トラフ地震から命を守るために！

特に備えておきたい3つのポイント

①家具・家電の
転倒防止対策

日ごろから
家具や家電は
必ず固定

阪神・淡路大震災では、死亡やケガの原因の約8割が「家具などの転倒落下や家屋の倒壊」でした。家具や家電を固定することで揺れによる被害を少なくできます。



②津波からの
早期避難

ぐらっときたら
とにかく急いで
高台へ

日ごろから避難路、避難場所を確認しておき、地震が起きた時は、揺れがおさまったらすぐに高台や避難ビルに逃げましょう。



③水や食料などの
備蓄

備えよう
水や食料
3日分

地震が起こった後、命をつなぐために、1人あたり最低3日以上の水や食料などを備蓄しておきましょう。



日ごろから、家庭や地域で話し合っ、南海トラフ地震に対する備えを進めましょう。



たいさくくん



ヘルパちゃん

高知県防災キャラクター©やなせたかし

平成28年9月4日(日)は

県内一斉避難訓練 (県内各地で開催されます)

※ 防災訓練の詳しい内容や自主防災組織に関することは、お住まいの市町村または南海トラフ地震対策課までご連絡ください。

【問い合わせ】

高知県危機管理部南海トラフ地震対策課 〒780-8570 高知市丸ノ内1-2-20 / TEL 088-823-9317 / FAX 088-823-9253